

令和4年 第4回定例会（12月議会） 行政報告

令和4年12月2日

議会議員の皆様、おはようございます。

本日ここに、令和4年第4回南山城村議会定例会をお願い申し上げましたところ、村議会議員の皆様には公私大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

議員の皆様におかれましては、平素から南山城村行政の推進に何かとご理解とご尽力をいただいておりますことに、この場をお借りしまして、心から厚く御礼申し上げます。

令和4年第4回議会定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

先の9月定例議会や第3回臨時議会でご議決いただいております国の交付金等を活用したワクチン接種事業、原油価格・物価高騰等の影響を受けた緊急支援対策事業として、農業事業者や社協の介護サービス事業に係る事業者の原油価格高騰の負担軽減・支援対策を実施しているところです。

具体的には、住民税非課税世帯等に対し5万円を給付する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金につきましては、11月18日に対象世帯へ確認書を送付し、22日から申請受付を開始したところです。11月末日時点で、356世帯の対象者世帯から233世帯65.45%の世帯が既に受

付・申請済みとなっており、12月中旬から順次給付を開始する予定となっております。

次に師走を迎え、日ごとに寒さが増す中、新型コロナウイルス感染症の第8波の兆しが見え始め、全国的に感染者が拡がり続けている状況となっております。特にインフルエンザとの同時流行やオミクロン株の変異株による感染が年末年始にかけて急増し、1月をピークに猛威を振るうことが危惧されています。

現在、拡大が懸念されている変異株は、これまでよりも免疫をすり抜けやすい可能性があるとの分析報告があり、専門家会議によりますと、今後の感染拡大を抑えるカギとしては、感染による抗体とワクチン接種による抗体の2つの免疫を持っている方の割合が多ければ、第8波の拡大が比較的低く抑えられるとされています。こうしたことから、新型コロナウイルス感染症の罹患経験のある方も含め、すり抜けが懸念される変異株対策として、ワクチンの追加接種によって、感染予防効果や重症化予防の効果があることが指摘されています。

なお、感染者に対する治療薬として、過日11月22日に軽症・中等症の治療薬として緊急承認されました新薬の治療効果も今後期待されているところです。

村におきましても11月上旬から開始いたしましたオミクロン株対応の

2価ワクチンの接種については、接種対象者2,188人に対し、11月末時点での接種済が508人、接種率23.2%となっております。

また、現時点で12月以降に予定しております集団接種予約が911人、予約率54.1%で、接種対象者に対して接種済と接種予約を併せますと64.9%の方が接種又は接種を予定されており、都市部の接種状況と比べても高い接種状況となっております。これも新型コロナウイルス感染症予防に対して、高い意識をお持ちであることと推察されます。